

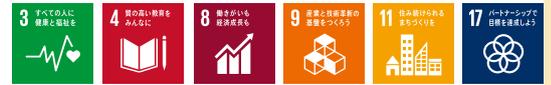
重点
プロジェクト

北里柴三郎プロジェクト

分類 人材育成・確保

総事業費	480,010千円	寄附目標額	—
計画期間	地域再生計画の認定の日…2021年4月1日～2024年3月31日		
数値目標	●北里柴三郎記念館の入館者数…………… 30,000人/年 ●観光入込客数の増加…………… 120万人/年		

〈SDGs〉関連するゴール



学習と交流による人材育成を

2024年に発行される新千円札の肖像画に採用が決定し、破傷風菌の純粋培養の成功、ペスト菌の発見や血清療法の確立など様々な功績を残している北里柴三郎博士は小国町の出身です。この医療法や発見は現代の医学でも活用され、新型コロナウイルスのワクチン接種などはこの医療法を応用したものです。博士は「学ぶこと」と「人とのつながり」を大切にされ、この学習と交流の精神はSDGsのゴール4「質の高い教育をみんなに」とゴール17「パートナーシップで目標を達成しよう」に通じる理念であり、この精神は研修施設「木魂館」の建設につながりました。現在この木魂館は様々な事業を通して、町内外の多くの方々の交流の場、新たな人とのつながりを生み続けている施設です。

この偉業や教えを後世に伝え、そして世界に広げるための情報発信は小国町として重点的に取り組んでいる施策の一つです。博士が私財を投じて地元の子どものために建設した北里文庫や博士の生家がある小国町北里地区には北里柴三郎記念館が開館されており、令和4年度には記念館周辺のコンテンツ充実を図るため、シアタールームの建設などの周辺整備による記念館への来館者数の増加を目指しています。

加えて、新千円札発行の2024年に向けて博士の顕彰事業や、人材育成のため博士の功績を学ぶ教育旅行や視察の受入れや広報活動も行っていきます。



世界的細菌学者・北里柴三郎博士の銅像